

## 第1章 調査内容

本調査は、以下の内容で実施した。

### 1. 調査名

特別支援学校（聴覚障害）におけるキャリア教育実態調査

### 2. 目的

全国の特別支援学校（聴覚障害）におけるキャリア教育の現状の把握と、学部ごとの課題を明らかにすることを目的とする。

### 3. 調査対象

全国の特別支援学校（聴覚障害）92校

①幼稚部、小学部、中学部、高等部・専攻科の学部主事各1名

②幼稚部、小学部、中学部、高等部・専攻科のキャリア教育担当者各1名

### 4. 調査期間

平成28年10月～12月

### 5. 調査方法

特別支援学校（聴覚障害）校長宛に調査依頼書を送付し、回答者に対して本研究所Webページの調査票ファイルに回答の上、回答用電子メールアドレスに送付を求めた。本調査は、本研究所倫理審査委員会の許可を得て実施した。

### 6. 調査内容（項目）

(1) 基本情報	担当学部、担当、教職経験年数、特別支援教育（聴覚障害）経験年数、特別支援教育（聴覚障害）以外の経験の有無、勤務校在籍年数、担当学部の担当経験年数
(2) 指導の実際	キャリア教育の指導場面、キャリア教育に関わる指導内容（個別指導・集団指導）、キャリア教育を実施する際に参考にしている資料、個別の指導計画（個別の教育支援計画を含む）の活用状況、キャリア教育の推進・充実のための学部での課題、キャリア教育で特に重視して取り組んでいる指導内容、今後考慮する必要がある指導内容
(3) 学校卒業後の進路 （高等部のみ）	継続的に進学、就労（雇用）するために重要なこと
(4) キャリア教育に関わる指導内容の評価方法	キャリア教育に関わる指導内容の評価方法
(5) 連携している関係諸機関と卒業生等との交流	連携している福祉や行政機関、医療機関等卒業生との交流、卒業生の保護者との交流

## 7. 回答者

特別支援学校（聴覚障害）65校（70.7%）より回答があった。学部主事202人、キャリア教育担当者152人から回答を得られた（表1-1）。

なお、学部主事とキャリア教育担当者を兼務しているとの回答が、幼稚部1人、小学部1人、中学部2人、高等部2人であった。本調査では、兼務している者については、学部主事、キャリア教育担当者両方に加え集計した。

本調査結果の割合は小数第2位で四捨五入した結果を示す。そのため、合計値が100%にならないことがある。

表 1-1 本調査の回答者（人・%）

	有効回答数(N)	学部主事	キャリア教育担当者
有効回答数(N)	354	202(57.1)	152(42.9)
幼稚部	88	56(63.6)	32(36.4)
小学部	96	54(56.3)	42(43.8)
中学部	92	51(55.4)	41(44.6)
高等部	78	41(52.6)	37(47.4)